



厚労省リウマチ・アレルギー情報 国のアレルギー疾患対策、専門医情報や最新治療ガイドライン情報など。アレルギー相談員養成研修教材も掲載。www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/index.html

日本アレルギー学会 専門医情報。喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜疾患など、各学会のアレルギー疾患管理・治療ガイドラインなど。www.jsaweb.jp/

日本アレルギー協会 ガイドライン情報、患者向け講演会、毎年2月のアレルギー週間行事の情報など。厚労省研究班による「アトピー性皮膚炎治療ガイドライン2008」「食物アレルギーの診療の手引き2008」「食物アレルギーの栄養指導の手引き2008」などがダウンロード可。www.jaanet.org/ (電話相談「アレルギー相談センター(無料)」電話: 03-3222-3508 詳細はホームページ参照)

リウマチ・アレルギー情報センター 厚生労働科学研究班による病態解明・治療・薬剤情報など。厚生労働科学研究補助金による制作。www.allergy.go.jp/allergy/

医療と健康のシンポジウム 最新治療ガイドラインによるアレルギーシンポジウムの案内と録画の動画配信。(財)日本予防医学協会による。「小児アレルギー疾患Q&A」では各疾患30項目以上の質問に動画で回答、「Q&A目安箱」でメール相談可。小冊子「アトピー性皮膚炎17の質問」なども紹介。www.sympto.jp/index.html

独立行政法人 環境再生保全機構「ぜん息などの情報館」 公害健康被害補償予防法に基づき、ぜん息を中心に食物アレルギーや花粉症情報、自治体や教育委員会の啓発講演会・研修会・無料の啓蒙冊子なども紹介。www.erca.go.jp/ (「ぜん息電話相談(無料)」電話: 0120-598014)

日本皮膚科学会 皮膚科Q&Aにアトピー性皮膚炎や合併する皮膚炎の解説など www.dermatol.or.jp/

アトピー性皮膚炎についていっしょに考えましょう 厚労科学研究による。「アトピー性皮膚炎よりよい治療のための Evidence-based Medicine とデータ集」は医学的な根拠に基づく治療法のデータ集。データ集の「一般向けQ&A」もわかりやすい。「かゆみをやっつけよう」も必見 www.kyudai-derm.org/atopy/

日本小児アレルギー学会 アトピー性皮膚炎情報など。「食物によるアナフィラキシー学校対応マニュアル」もダウンロード可。www.iscb.net/JSPAC1/

EPIPEN.JP エピペンの使い方を具体的に詳しく解説。練習・サポート研修に動画が最適。www.epien.jp

アナフィラキシー対策フォーラム アナフィラキシーに関する知識や医療機関情報。www.anaphylaxis.jp/forum/checksheet.html

厚労省「食品の表示に関する情報提供」 パンフレット「加工食品に含まれるアレルギー表示(患者・消費者向け)」などダウンロード可。www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anken/hyouji/index.html

学校保健「ポータルサイト」 文部科学省が「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の閲覧・購入に加え、「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」をダウンロード可に。近々Q&Aも随時UP予定。ビデオ「よくわかるアトピー性皮膚炎」13分では、処方された軟膏の使い方、皮膚の洗いを実際にわかりやすく動画配信。http://www.gakkohoken.jp/

PDF「よくわかるアトピー性皮膚炎」 無償配布小冊子。ガイドラインに沿った標準治療をわかりやすく解説。アステラス製薬のホームページからダウンロード可。後援 日本学校保健会 発行 MC クリエイト(03-3660-5731 から取寄せ可) med2.astellas.jp/jp/atopy/patient/understand/pdf/understand.pdf

「アレルギーを考える母の会」相談室

神奈川県民センター(横浜市神奈川区鶴屋町2-42-2)15F セルフヘルプ相談室1

毎月第4火曜日の10:00~12:30 電話: 045-312-1121(内3501) FAX: 045-312-6307(随時)